

「地域に根ざした開かれた学校づくりの推進」に関して
保護者や地域の方々の期待に応える学校経営に努め、開かれた学校づくりを推進するために、学校評価アンケートを実施し、本校の課題と改善策を明らかにした。

平成30年度 学校評価アンケートの結果及び分析

評価の基準 A:よく当てはまる(100～80%) B:だいたい当てはまる(80～50%) C:あまり当てはまらない(50～20%) D:まったく当てはまらない(20～0%) E:わからない

観点	番号	内 容	教 師					保 護 者					学 校 評 議 員					児 童					考 察					委 員 評 価				
			A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
基礎・ 関する の確 実な 定着	1	基本的な学習習慣の定着と児童が主体的に学習に取り組む態度の育成を図り、単元テストにおいて全国平均を80%の児童が上回るようにする。	1	4	1	0	0	12	19	0	0	0	6	1	0	0	0	16	16	1	1	0	35	40	2	1	0	○ 本年度は小中一貫ブロックの授業実践校の指定を受けていたこともあり、県が示すチェックポイントを意識した授業改善をねらった主題研究に取り組んできた。少人数で個に応じた指導を学年の実態に応じた取り組んでいる成果が保護者にも児童にも伝わっている。一方で、「進んで学習に取り組んでいる」の自己評価が低い児童も見られるので、個別の課題に応じた指導法の改善や学ぶ意欲を高める手立てに努めていく。 ○ 図書担当職員や図書館サポーターによる環境整備や様々な取組、毎日10分の朝読書の時間の設定で、学校で読書に親しむ習慣は付いているが、家庭での読書まで広がっていない傾向が分かる。読書への取組に対する称賛の場をもっと増やしたり、家庭と連携した「ノーマディアデー」の推進なども手立てとして取り組む必要がある。	・ 学習面では、各学年ごとに目標をもった指導がなされており、成果が出てきている。 ・ 基礎・基本は身に付くように先生方がご指導いただいている評価だと思ふ。 ・ 少人数ならではの、目の行き届いた授業ができていて、児童たち一人一人が発表の場を与えられ、楽しみながら積極的に授業に参加している。 ・ 作品展で入賞するなど、頑張りが見られる。個人の意欲や励みにつながるので、今後も可能な限り応募して、子ども達に元気を与えて欲しい。 ・ 少年団の影響もあると思うが、宿題をすれば宅習は終わりという状況が見受けられる。体力的にも無理がある面もあるのだと思うが、学力との兼ね合いが心配でもある。 ・ 読書よりもYouTubeなどの動画の方が今の子どもには人気がある。しかし、動画では考える力を養うことはできず、学校や家庭では読書なども通して、考える力を養うことが一番大事だと思う。			
	2	個に応じた指導や言語活動の充実を図るなど授業改善に努め、児童・教師相互・保護者による授業評価で肯定的な評価が80%以上になることを目指す。	2	3	1	0	0	14	15	1	0	1	5	2	0	0	0	24	8	1	1	0	45	28	3	1	1					
	3	図書環境を整備し、読書活動を推進するとともに、表現活動の場の工夫や作品応募に積極的に取り組む、自分の思いや考えを表現する力を伸ばす。 (進んで読書をしている。)	0	6	1	0	0	3	8	16	2	2	5	2	0	0	0	18	9	6	1	0	26	25	23	3	2					
意見等	【保護者】 ○ 学習については、丁寧に分かりやすく教えてくださっていて、とてもありがたく思っています。おかげ様で楽しく学ぶことができている。 ○ 少人数ならではの目の行き届いた授業で、児童たち一人一人が真剣に学んでいるように見えました。																															
基 本 的 な 生 活 習 慣 、 豊 か な 心 の 育 成 に	4	元気なあいさつ・返事、正しい言葉遣いができ、廊下歩行等のマナーを守れるようにする。	1	7	2	0	0	4	20	6	1	0	3	4	0	0	0	14	14	6	0	0	22	45	14	1	0	○ 高学年が企画した「あいさつ運動」の取組期間中は、大きな声で自主的にあいさつする姿が見られた。年間を通して、望ましいあいさつできる児童を育成するために、よいあいさつのモデルを示しつつ、継続したあいさつ指導の充実を進める必要がある。 ○ 清掃やボランティア活動に進んで取り組んでいるという意識が高くなり、一方で、ファミリー班(縦割り班)での清掃活動では、上級生が手本になり、清掃に励む姿が見られた。また、このファミリー班を清掃以外の場(縄跳び、栽培活動、児童会活動など)でも活用したことで、高学年がリーダーシップを発揮し、学校全体を考えるよい機会になった。 ○ 週に一度、各学級や児童の様子を情報共有を行う場を設けることで、全職員で全児童を見守る体制作りに取り組んできた。また、教育相談では、児童一人一人と面談する場を設定した。このような小規模校の特性を生かし、道徳や学級活動の時間に限らず、全教育活動内で、健やかな心身の育成に一層努めていく。	・ 気持ちよい挨拶ができていく麗小の子ども達。これからは初めて会う人、見知らぬ目上の人などにも自ら進んで大きい声で挨拶する心を大切に欲しい。 ・ 登下校時よく目にする姿であるが、上級生が下級生に対する姿がとてもよい。 ・ 学校での室内活動や屋外での自由時間でも、仲良く過ごしていて、すばらしいと思う。 ・ 各学年、毎年、人権教育の熱心な授業が行われており、着実に子ども達の心が育ってきていると感じる。 ・ なかなか校外で子ども達の姿を見ることが少なくなり、行動が見えない。以前はよく連れて行って遊んでいるのを見かけて、声をかけていたのだが、色々と忙しいのかと思う。 ・ 清掃・ボランティア・栽培活動が地域や家庭にも広がっていくことを期待している。			
	5	清掃・ボランティア、栽培活動に進んで取り組めるようにする。	1	5	4	0	0	3	16	10	0	2	5	2	0	0	0	21	8	2	3	0	30	31	16	3	2					
	6	人権教育・道徳教育の充実を図り、自他の生命の尊重と他を思いやる心を育てるとともに、思慮深く善悪を判断して行動できるようにする。	0	5	3	0	0	5	20	6	0	0	4	3	0	0	0	11	13	6	3	1	20	41	15	3	1					
意見等	【保護者】 ○ 下級生に親切にする姿を見て成長を感じることができ、嬉しく思います。けじめのあるきめ細やかなご指導によって楽しく学校生活が送れています。																															
健康・ 安全・ 関する 事 体 力 の 向 上 に	7	安全指導の徹底を図り、命を大切にす心、態度を育成する。	2	5	1	0	0	8	20	3	0	0	2	4	0	0	1	30	3	0	1	0	42	32	4	1	1	○ 各学期始めに、交通立番に取り組んだり、地域の皆様に見守り隊としてご協力頂いたりすることで、大きな怪我や事故もなく、安全に登下校できている。しかし、登下校班の中で横断歩道や踏切の渡り方が不十分だったり、列が乱れたりするケースもあるので、継続的な安全指導を行いながら、危険予知・回避能力を高めていく。また、来校者の名札着用など、安全面の手立てを今後は一層進めてきたい。 ○ 健康に関する評価は概ね良好である。食に関しては「食育週間」を設定し、給食主任が、姿勢や箸の持ち方、感謝の気持ちなどの掲示物を用意し、各学級での指導に役立っている。 ○ 週に1回、業間の時間を「体力づくり」に設定し、サーキットトレーニングを中心に体力向上に取り組んできた。一方で、その効果や取組状況などが十分に保護者・地域に伝わっていないことが分かる。「体力向上プラン」について、保護者と情報を共有したり、ホームページや通信などで啓発を図ったりする手立てをとってきたい。	・ 運動会での各団のリーダーシップのすばらしさに感動した。また、全校児童でより盛り上げようとする気持ちが伝わってきて、嬉しかった。その裏で先生方のご指導に深く感謝している。 ・ 持久走大会で、城山苑の人たちの応援などもあり、子ども達が頑張っているとの報告をお聞きた。 ・ 健康・体力の向上等については、申し分ないと思うが、校内における安全対策が十分かと言えそうではない気がする。外来者対策の上からも、防護柵や通用門(3ヶ所)の門扉設置と施錠等はあつた方がよいと思える。学校施設安全性の独立。 ・ 食事の大事さに加え、行事食や伝統食についても取り入れていけたらと思う。高齢化が進む中で、色々な昔ながらのことが廃れていくのではと気がかりである。			
	8	保健指導や食育の充実を図り、健康に生活できる力を育てる。	2	5	1	0	0	7	21	3	0	0	3	3	0	0	1	29	3	1	1	0	41	32	5	1	1					
	9	体力向上プランに沿って、体育科学習指導や教科外における活動の充実を図り、児童一人一人の課題となっている体力の向上に努め、スポーツテストのA・B・C判定90%以上を目指す。	1	4	2	0	0	6	12	11	1	1	3	2	1	0	1	21	9	3	0	1	31	27	17	1	3					
意見等	【保護者】 ○ 食べ物を食べる時、これは栄養あるかと確認していきます。 ○ 楽しく運動ができる取組がされていて体力づくりに役立っていると思います。																															
学 地 域 づ く に 根 ざ し 関 す 開 か れ た	10	保護者や地域の方の評価や意見を受け、連携して教育活動にあたり、保護者や地域の方の期待に応える学校づくりを推進する。	0	4	4	0	0	13	11	1	0	0	5	2	0	0	0	/	18	17	5	0	0	○ 家庭との連携については、学校だよりや学級通信、参観日の懇談、そして今年度より整備した学校ホームページなどで、学校の教育活動をお知らせするなどして、家庭や地域と連携を図りながら、教育活動を進めていくことができた。 ○ 地域の伝統芸能である「文弥節麗人形浄瑠璃」への取組については、概ね評価も高く、保護者や地域の思いや期待も大きいことが分かる。これまで土曜日に行っていた人形サークル活動を、次年度から教育課程内に位置付けたことで、より全員参加の体制で徹底して練習に励むことができる。 ○ 学級活動年間指導計画見直しの際に、地域の福祉施設訪問をしっかりと位置付けたことで、次年度以降の計画的な実施が確実になり、より地域と密着した教育活動を行うことができると考える。	・ 田植え・花の苗植え・山之口町フェスタの人形浄瑠璃などが、地域、保護者、学校との協力体制や学舎合いができており、頼もしく感じる。人形浄瑠璃の発表も町以外の人達からも高い評価があった。 ・ 折に触れて、学校便りが発行されて、学校の活動の様子がよく分かり助かっている。これからも宜しくお願いします。 ・ 皆さんそれぞれの意見、感想があると思うが、学校側は積極的に活動しているように思う。 ・ 借家の家庭も増えて、まったく他の地域からの新入生の方々もいらっしゃるの、親御さん達に伝えていくツールもより充実する必要がある。 ・ 学校、保護者の方、地域協力者等の取組は申し分ないと思う。「子どもは地域の宝」と思っており、三位一体となった取組がこれからも持続していくことを願っている。学校からのメール配信も非常に役立っている。 ・ その他として、防災については、キャリア教育の中で消防団の協力を得ながら進めてもよい。また、夏の島津寒天工場見学の参加者を増やして頂けると助かる。							
	11	文弥節人形浄瑠璃の伝承活動ならびに地域との交流や体験活動に取り組むとともに、地域の人材や施設・文化財を積極的に活用し、ふるさとを愛する心や感動する心、感謝する心を育てる。	4	3	0	1	0	16	8	0	0	0	7	0	0	0	0		27	11	0	1	0									
	12	保育所・近隣の小学校・中学校との連携と相互評価を深め、系統性・一貫性を意識した共通指導と個に応じた指導を充実させる。	2	2	4	0	0	8	10	2	0	4	6	1	0	0	0		16	13	6	0	4									
意見等	【保護者】 ○ 学校便り、学級便り、ホームページから教育活動や子どもの様子を知ることができ、大変ありがたく思っています。																															